

# 男喰い

淫乳航海士ナナミ



恥辱の闘技場

奴隷女剣闘士レベッカ



ここはグラウンドラインのとある港町——  
多くの船が入りし、港は様々な男たち——水夫、  
人夫、商人、はては海賊——の喧騒に溢れている  
その光景を眺めるひとりの女がいた  
商売女と見紛うばかりの肌を露出した出で立ちに  
なにやら目に異様な光をともし周囲を覗っている




（……んふふ♡……いるいる……）  
この女に飢えたむくつけき男どものくっさい匂い……  
たまんないわあ……じゆる……おっと、あんまり物欲しげ  
だと足元見られちゃうから気をつけないと……  
さて……どれか適当な男は……と……）

そこのおにーさんたち ♡

いま港についたばかりでしょ？  
私と遊んでみない？安くしとくわよ  
ほくら(チラッ)サービスしちゃうわよ？





ふふ……どう?  
こんなのそこの女じゃしてくれないでしょ?  
私のパイズリ評判いいんだから  
そっちのおにーさんもちよっと待っててね  
いま済ませちゃうから……



ほうりゃ…ほれへろうら!

じゆる…じゅぽ!じゅぽ!

はわらひのへられいひやにやいおとほ  
いにやひのほ!!

ぶじゅ!じゆるるっ!

ぶは!

……この溜めに溜めた男汁……  
やっぱりいいわあ……

え?……ああなんでもないわよ  
すぐキレイにするから……

ひよつとまっへへ……ちゅぱちゅぱ



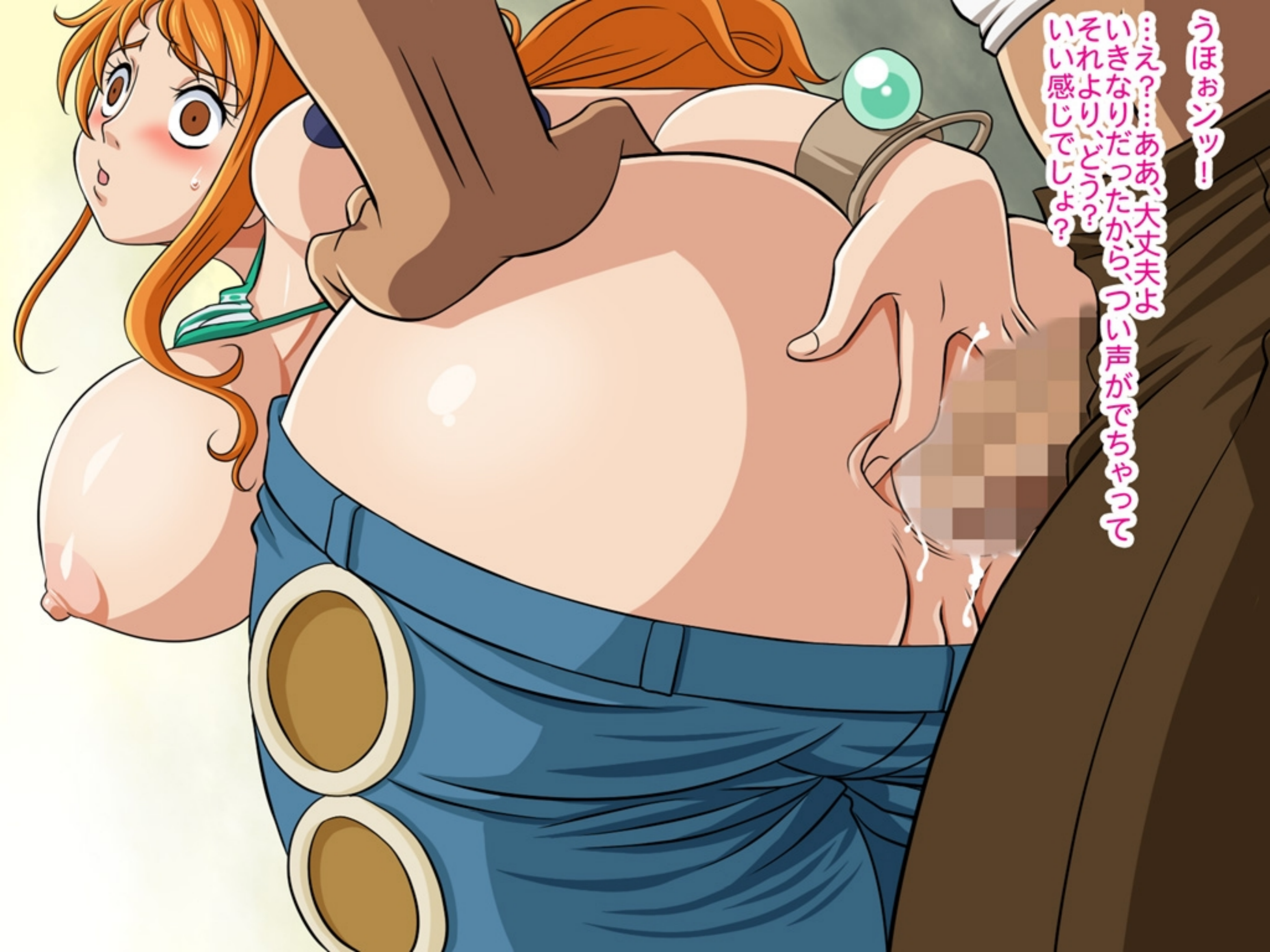
はあい、おまたせえ  
おに「さん」は、こっち試してみない？  
大丈夫よ、なかはキレイにしてあるから  
私のお尻もスゴイわよ？





うほおんツ!

…え?…ああ、大丈夫よ  
いきなりだったから、つい声がでちゃって  
それより、どう?  
いい感じでしょう?



ほうら…どう？

こうやって私が腰をまわして  
こねこねするの気持ちいいでしょ？

ふふ…  
これでイカない男はいないわよお  
ほら、もうお尻のなかでびくびく  
するのがわかるわ…



え？なに？  
今度は自分で動いてみたいって？  
：そりゃ、かまわないけど…

ひいッ！

いいきなり激しッ！  
も、もつとゆっくり…  
はうッ！ああんッ！



す、スゴいわ!  
おにーさんスゴい!

アアツ! あーツ!

こ、この...男に好き勝手に  
貪られる感じ...  
ひ、ひさしぶりだわ...  
や、ヤバ...アタシいきそう...

く...きひいッ!  
ひいイッ!



はあ……はあ……

も、もう我慢できない！  
そっちのアンタもさっさとアタシに  
突っ込みなさいよ！

アンタ達も一発出したくらいじゃ  
萎えるわけないでしょ？

ふたりまとめて相手してあげるわ！



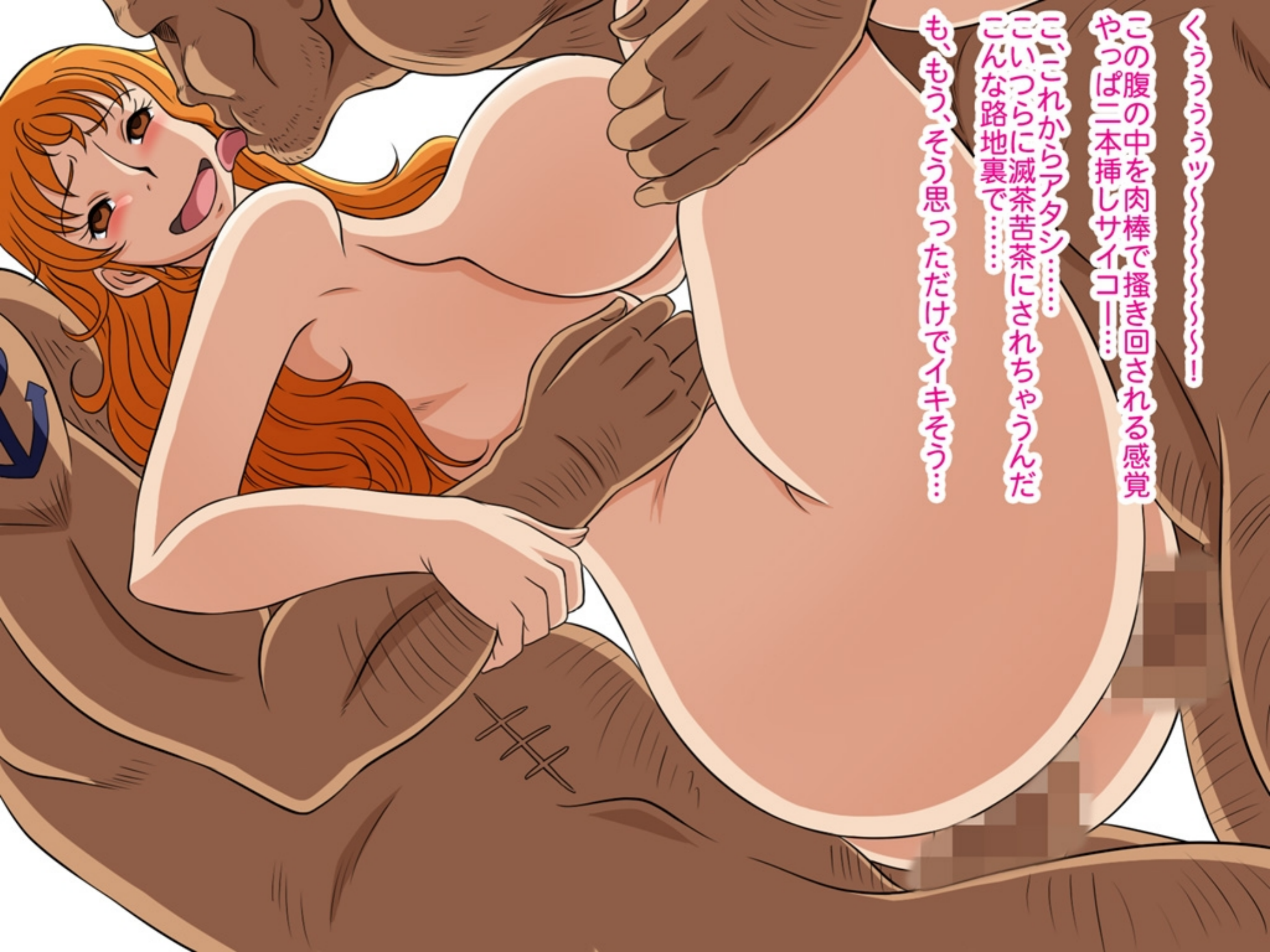
くううううツ~~~~~~~~!!

この腹の中を肉棒で掻き回される感覚  
やっぱ二本挿しサイコー!!

こゝこれからアタシ.....

こいつらに滅茶苦茶にされちゃうんだ  
こんな路地裏で.....

も、もう、そう思っただけでイキそう...

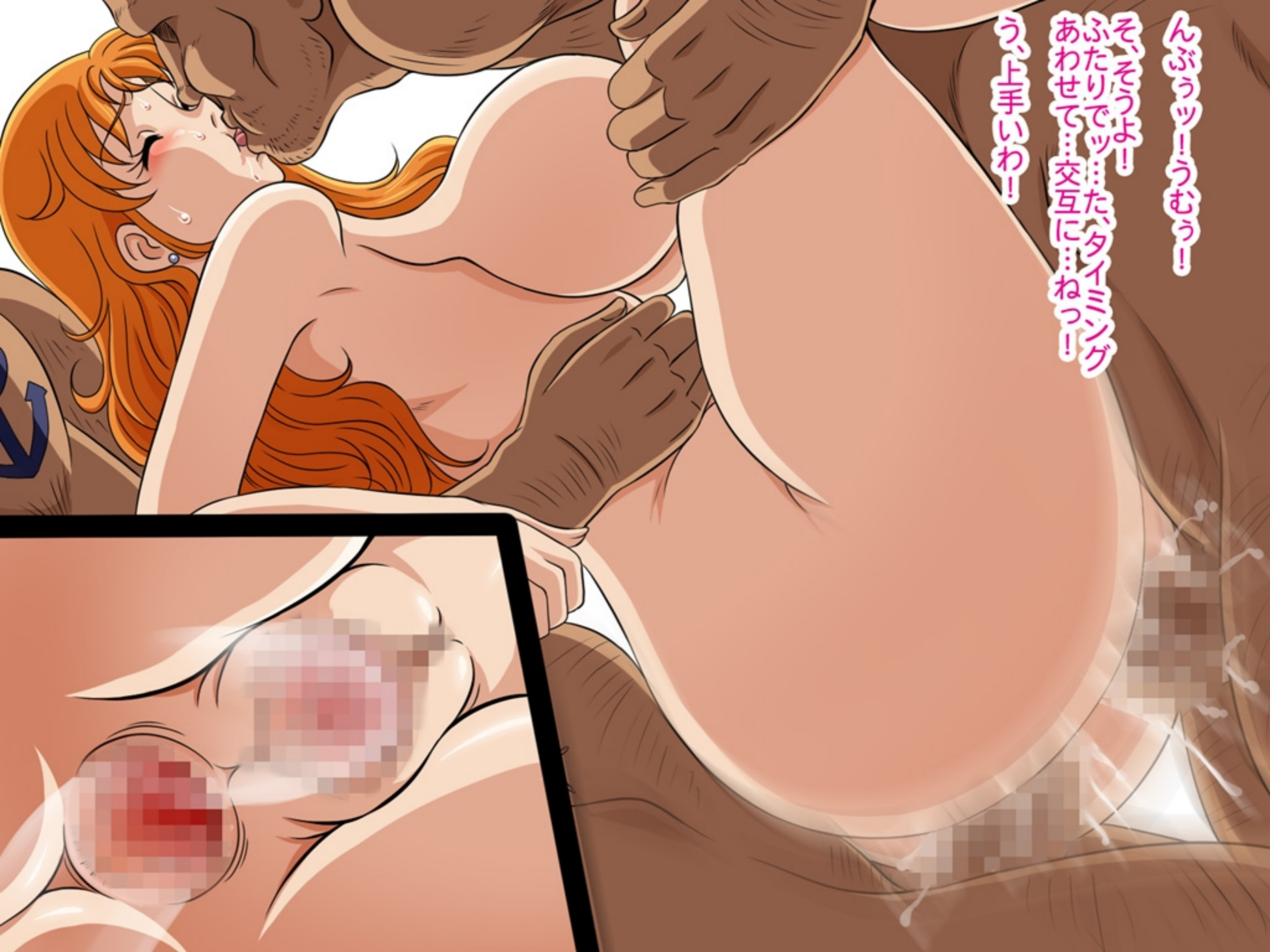


んぶうツ！うむう！

そ、そうよ！

ふたりでツ…た、タイミング  
あわせて…交互に…ねっ！

う、上手いわ！



ハッ！ハッ！あはあッ！  
も、もつとほじって！  
もつと掻き回して！  
もつとアタシを滅茶苦茶にしてよ！  
あ、アタシ…もう…！！







……あー……

イッたイッた……  
ひさしぶりにチンポ堪能したわあ

あはっ全身どろっどろじゃないの  
次の男引っ掛ける前にお風呂探さないと

……あ、しまった……  
金とるの忘れてた……



ねえ！みんなヤラない？

またかよ！ヤラねえ！

：おまえ、この前俺の刀でオナリやがったろう？  
次やったら叩き斬るぞ

ナミ！俺が寝てる間に  
鼻にハメるのヤメ口って！  
マン汁臭くてかなわねえ！

人間の女とやる趣味はないゾ

相手してあげてもいいんですが  
私チンポついてませんので  
骨ですから！

今度全自動アクメマシン作って  
やるからちよつと黙ってる

あなた、港で何人男を食ったの？  
大分噂になってたわよ

な、ナミさん！お相手なら俺が！

あ、サンジくんはいいわ  
早漏は趣味じゃないの

END



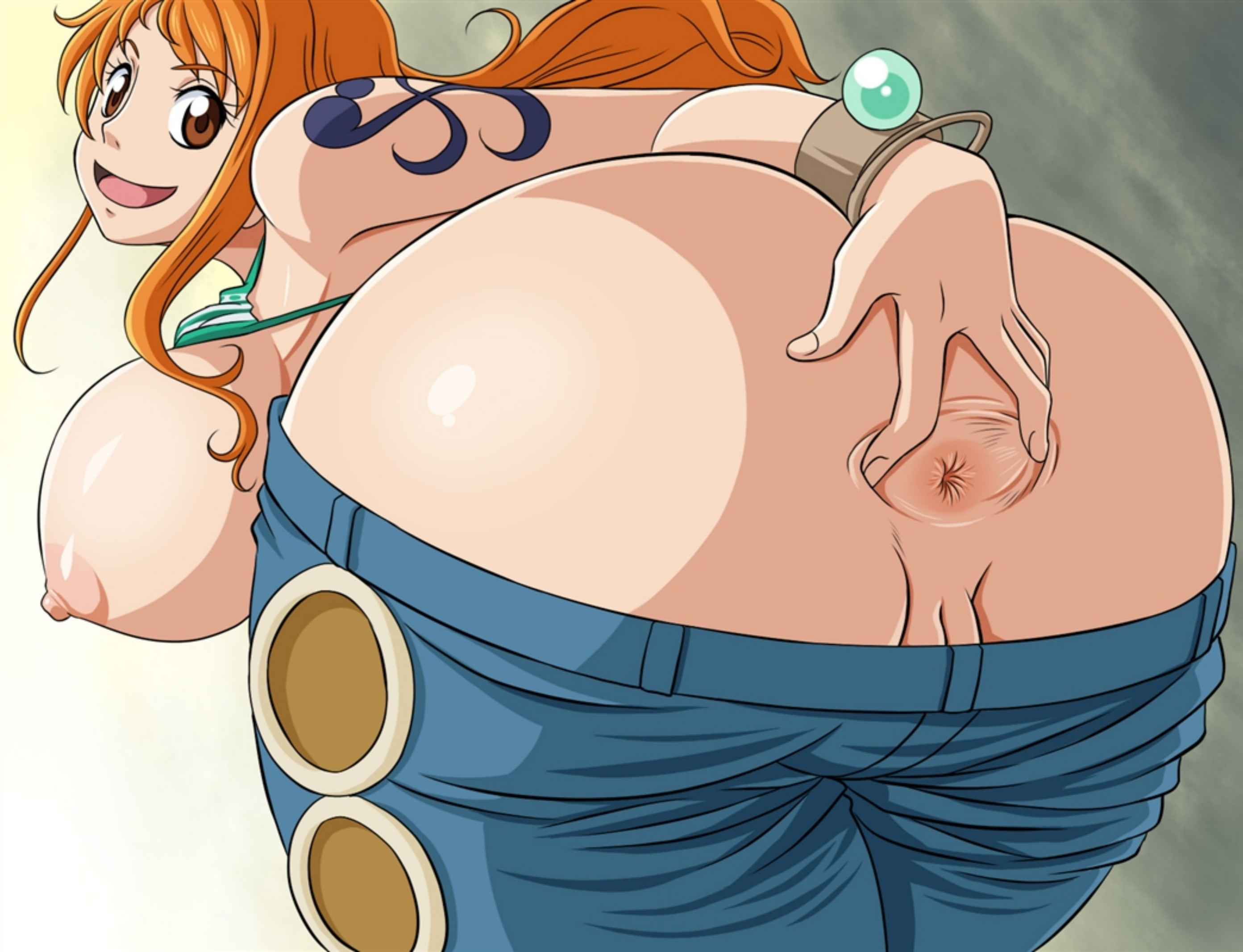


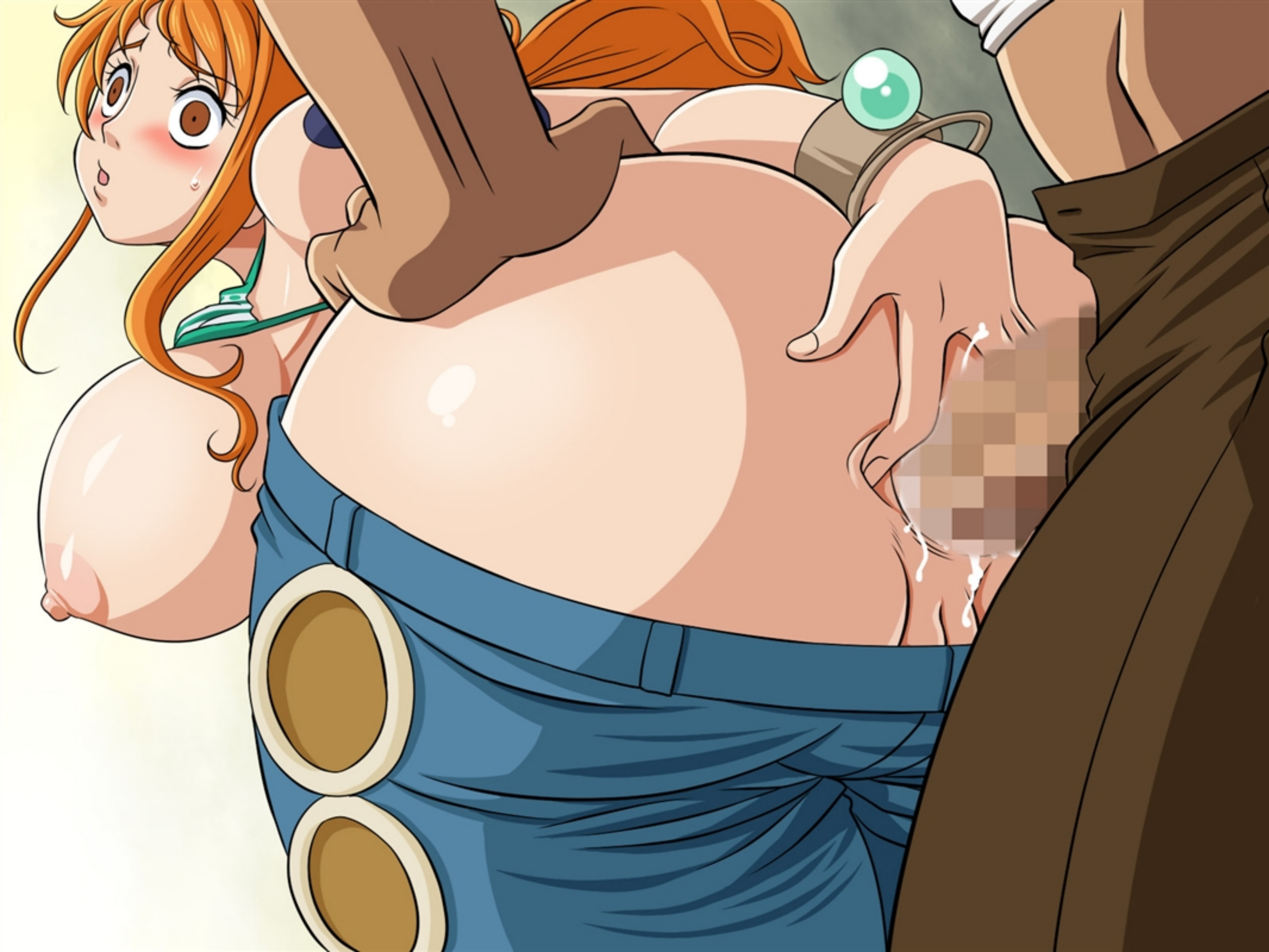


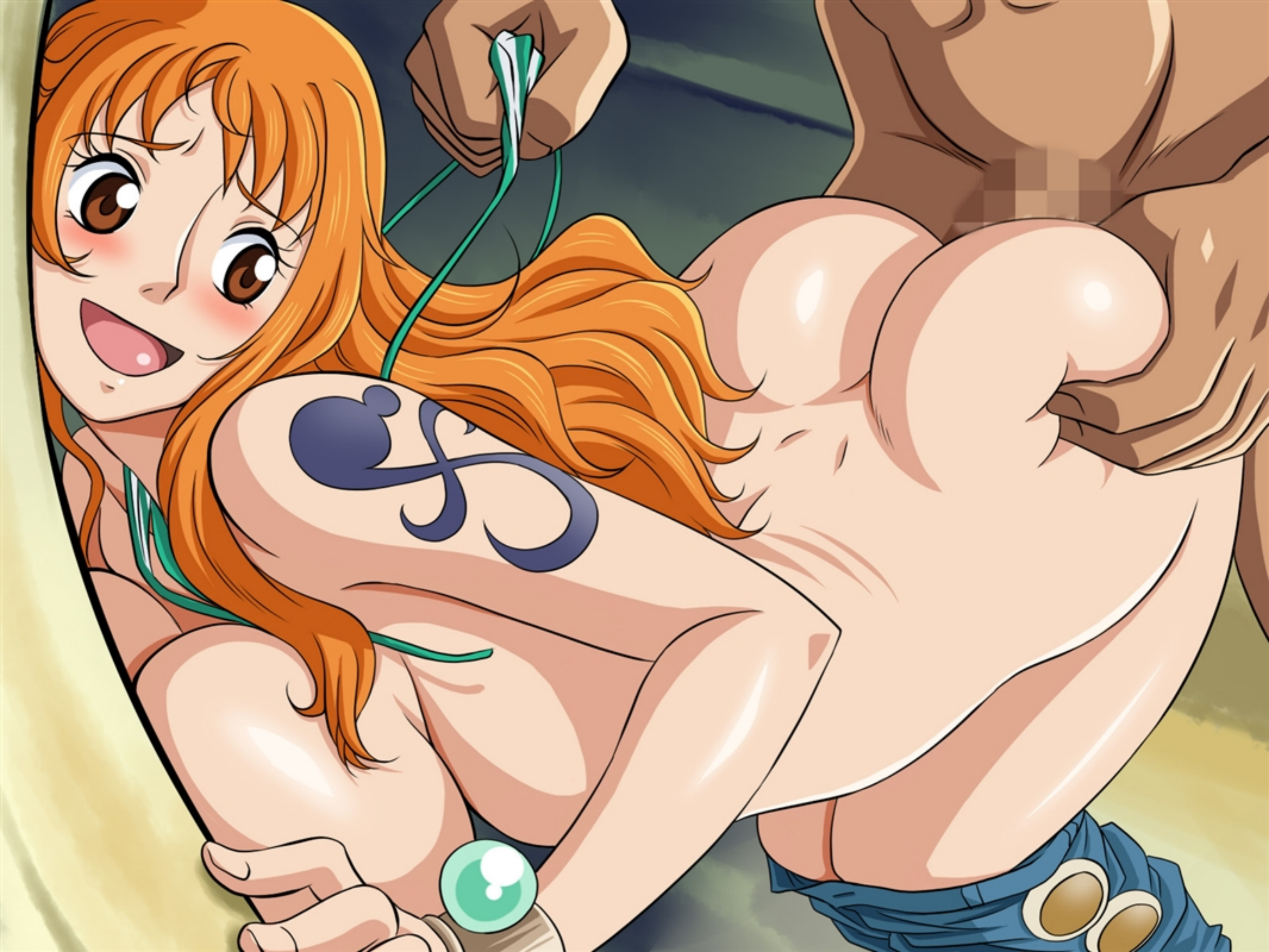


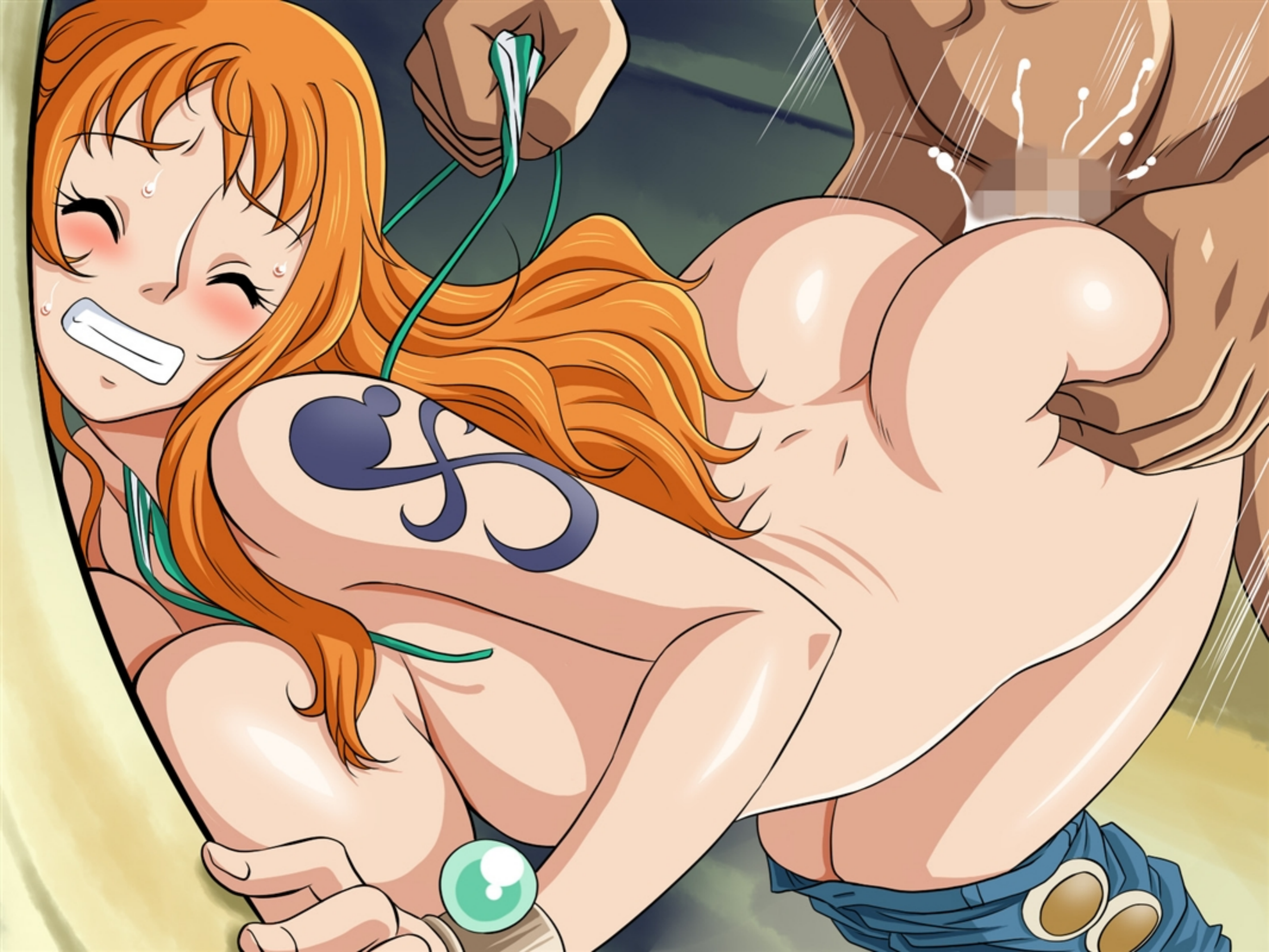
































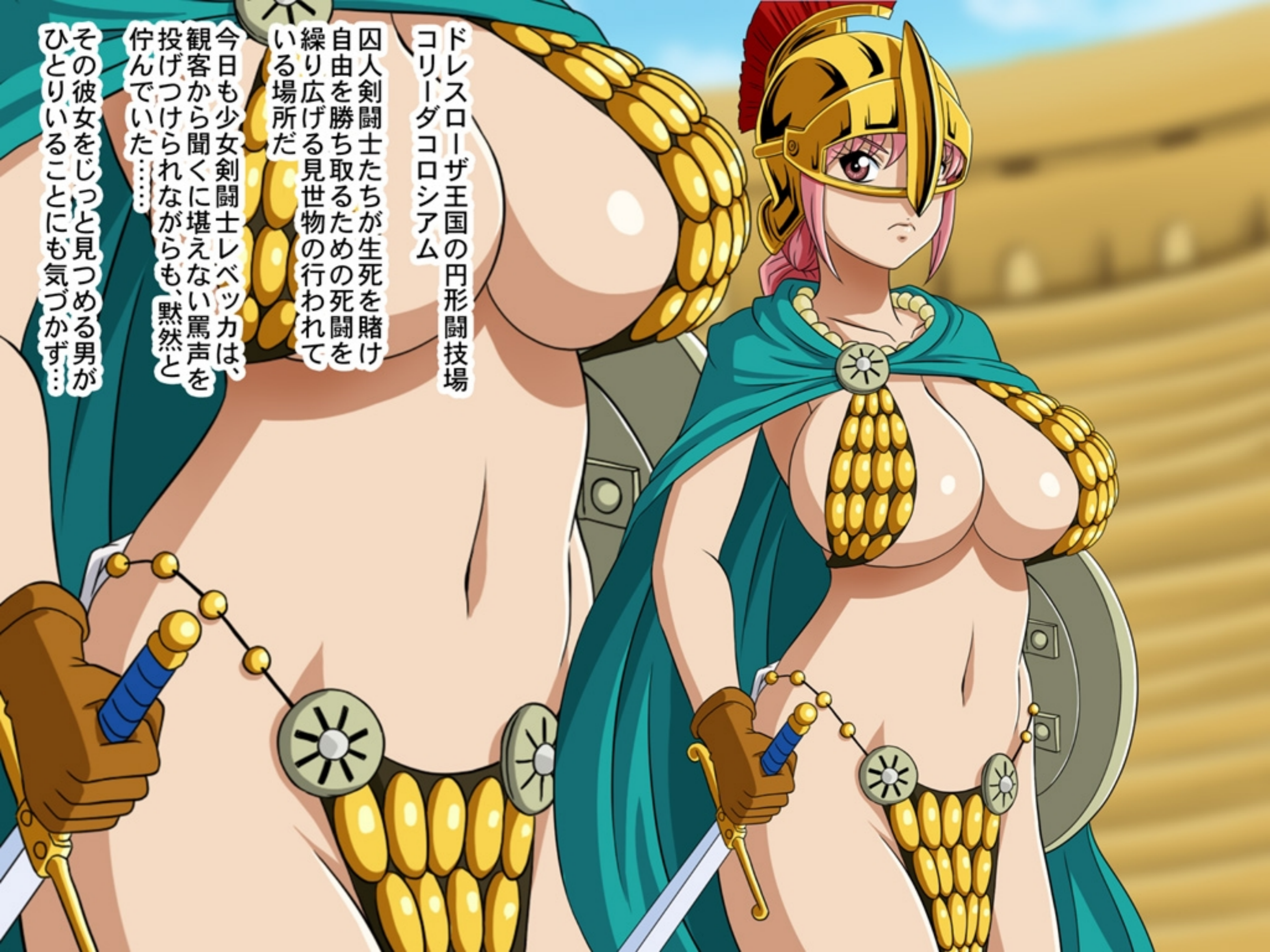


ドレスローザ王国の円形闘技場  
コリィダコロシアム

囚人剣闘士たちが生死を賭け  
自由を勝ち取るための死闘を  
繰り広げる見世物の行われて  
いる場所だ

今日も少女剣闘士レベツカは、  
観客から聞くに堪えない罵声を  
投げつけられながらも、黙然と  
佇んでいた……

その彼女をじつと見つめる男が  
ひとりいることにも気づかず……





それは些細なミスだった  
いつものように闘技場の縁に陣取り  
突進してくる相手を場外に落とすと  
いう戦術をとるべく、移動していた  
レベッカを誰かの攻撃がかすめた  
それ自体は、なんのダメージにもなら  
なかつたが、胸当てがずれレベッカの  
豊かな胸がまるびでた  
人目に晒された自分の乳首に思わず  
動揺した彼女が足を止めたのは年頃  
の少女なら致し方無いことであろう  
だが…

キーン

キーン





思わず足を止め胸元を直そうと  
していたレベツカの後方から  
拳が唸りを上げ彼女を襲った  
普段であれば避けられたであろ  
う一撃を彼女は避けきれなかった

「がはッ！あがッ！」  
かろうじて致命傷を躲したのは  
レベッカの卓越した技術だった  
が、脇腹を抉られた痛みについてのた  
うち回り咳き込む

そんな彼女の足を誰かが掴んだ



ひとりの屈強な剣闘士がレベッカの足を掴みあげ、逆さに吊り上げた。足を大きく広げられたレベッカが苦痛と羞恥に呻き、逃れようと身をよじるが……



レベツカの股間から異音が響いた  
「逃げ回られると面倒だからな……  
なあにちよつと関節と筋を捻った  
だけだ……しばらく歩けんがな」  
男が冷酷に笑う

だが激痛に呻くレベツカの耳には  
届いていなかった……

ゴキ

ギ

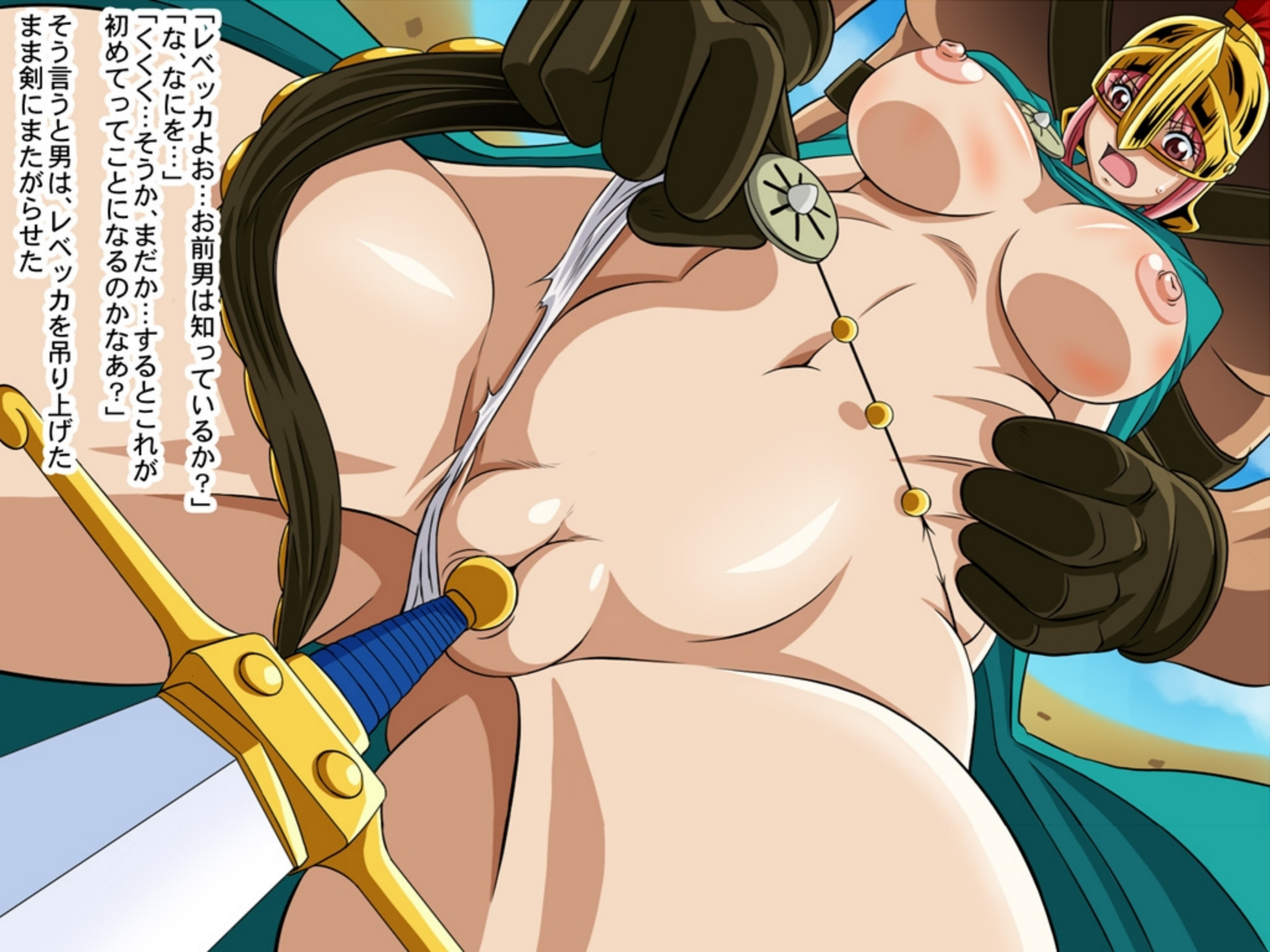


「や、やめ…ち、ちぎれるう…!!」  
男はレベツカの足から手を放したが  
今度は彼女の乳房を掴んで吊り上げた  
体重が胸の付け根にかかり、更なる  
痛みで顔を歪めるレベツカ



闘技場の床に突き立ったレベッカの愛剣  
投げ出された時に偶然そうなったのだから  
それを見た男は、何かを思いつき口の端し  
を歪める





「レベッカやおお…お前男は知っているか？」

「な、なにを…」

「くくく…そうか、まだか…するとこれが  
初めてってことになるのかなあ？」

そう言うと男は、レベッカを吊り上げた  
まま剣にまたがらせた



「やっやめてえッ!」  
なにをされるか悟ったレベッカの哀願を  
無視し、男をレベッカの股間に剣の握り  
を押し込んだ

「いぎいんぎん」



「初めてがこんなものだけじゃ  
気の毒だなレベッカよ」

男は、そう言っているとマントを  
たくしあげるとレベッカの  
尻肉を掴んだ

「？」







「おきゅいんー！」

前戯すららない肛虐にまたしても  
悲鳴をあげるレベツカ

足には殆ど力が入らないが、肉棒  
に押し上げられ腰が浮く

「おっと、いけねえ」  
男はレベツカを押さえつけると  
強引に腰を落とさせる

肛門と膣を深々と犯されただ  
泣き叫ぶじかできないレベツカ

「ぐひひひいっ！」

「お、こりゃいいな」  
激痛に痙攣するレベツカの尻肉  
の感触を男は楽じんだ  
レベツカの体を掴んで無理矢理に  
ピストン運動をさせ始める



いつ終わるともしれない陵辱もついに絶頂がきた  
突如レベツカの下腹部を熱い衝撃が襲い、腹部が  
痙攣とともに膨張していったのだ…



ようやくのことでレベッカは解放され、床に転がされる。すでに満身創痍、息も絶え絶えな上に、その腹部は妊婦のように膨れ上がっていた……

「俺の射精量は半端なくてなこれでも何人も女を壊したのが囚人剣闘士になった理由よひさじぶりに抱けた女がお前のようなタフで嬉しいぜ」





ブズ  
グッ  
グッ

「そのお前のタフさに敬意を表し  
コイツもくれてやるぜ!」  
そう叫ぶと男はレベツカの腹を  
踏みつける  
「ぶぎやあアアツ!」

まるで豚のような悲鳴とともに  
レベツカは口と肛門から  
まるで噴水のように精液を  
噴き上げ悶絶した

グッ  
グッ  
グッ

グッ  
グッ  
グッ

レベッカの朦朧とした意識に  
観客たちの歓声が聞こえてくる…  
「犯せ！」「畜生！俺にもヤラせる！」  
「ざまーみる！」「剣闘士全員で輪姦せ！」

「聞こえるかレベッカ…どうやら客どもは  
お前の更なる痴態がお望みらしいぜ…  
もうお前は剣闘士じゃねえ…ただの肉奴隷よ」  
男は兜、マントとレベッカの残った剣闘士の  
衣装を剥ぎ取り、その裸体を衆目に晒す

レベッカの目にはもう絶望しか浮かんでいなかった…

**END**

















